

魚津市定例記者会見 5月

日時：平成28年4月28日（木） 午後1時30分～

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、朝日新聞社、読売新聞社、
毎日新聞社、富山テレビ、NHK、チューリップテレビ、NICE TV
市当局出席者：市長、副市長、教育長、企画総務部長、産業建設部長、民生部長、
企画政策課長

1. 市長からの説明事項

(1) 市長任期、残りわずか

昨日まで3日間、関東・関西方面であいさつ回りをした。私の任期も残すところあと10日間ほどになり、実際に市役所へ登庁するのは2日間くらいだ。5月9日まで元気に勤めたい。

(2) しんきろうマラソンに多数の参加者

大変大勢の方に参加いただき、大会史上最高の参加者数であった。エントリーは6,700名余と聞いていたが、実際には6,360名が出場し、けがや事故もなくホッとしている。年々5,000人以上のマラソン大会になってきたということで、マラソンのファンが増えたということもあるのだろうが、大会は成功であったと思っている。

(3) 市長選、市議選について

10日告示、17日投開票の市長選、市議選で新しい市長さん、議員さんの顔ぶれも決まった。5月9日には新市長と事務引き継ぎをする。新しい議会も新人さんが入り、魚津市にとっては新時代に向けた活性化の礎になればと期待もしている。臨時議会は5月17日と聞いているので、その頃になれば議会の陣容もはっきりしてくる。

(4) パナソニックラグビー部によるラグビー教室を開催

明日（4月29日）、パナソニックラグビー部の現役選手3名によるラグビー教室を開催する。桃山運動公園を会場に、市内の小中高校生が指導を受ける。パナソニック社の半導体工場が魚津市にあり、魚津には昔からラグビーの伝統があるのでかねてからお願いをしていたところ実現にこぎつけた。魚津工業高校が昨年暮れに花園へ出場し、また、ラグビー熱は世界的にも高まっている。ラグビーを通じたスポーツ振興も目指すべき方向の一つと思っているので、この教室（クリニック）が成果のあるものにと期待もしている。

(5) ゴールデンウィーク中、水族館や埋没林博物館、ミラージュランドへぜひご来

場を

昨日(4月27日)、長岡京市でパナソニックの社長さんとお話をしていたところ、魚津のパナソニックタワー jazz社に海外からのお客さんが来るが、埋没林博物館に案内すると大変素晴らしいと評価されるということだ。市民は、ただの木の根っこという見方ではないかと思うが、やはり 3,000 年前の樹根の現物を目の前で見られるというのは、昔、月の石を万博で展示しフィーバーしたようなもので、長い歴史を持つ樹根をそのまま展示しているのだという認識をもつ必要があると改めて感じた。

(6) 第 68 回全国植樹祭プレ大会 (第 17 回とやま森の祭典) が開催

来年、桃山運動公園で開催される第 68 回全国植樹祭のプレ大会が、5月22日に開催される。県内の皆さん多数に呼びかけ、県では 3,000 人規模の植樹祭にできないかという意気込みである。今後も魚津市がいろんな意味で元気を発信できればと思っている。

(7) 現市長、最後の定例記者会見

12 年間、記者クラブの皆さんには大変お世話になった。おかげさまで約 4,300 日余、病気で休むなどということはほとんど記憶にないくらい元気でやってこられたこと、心より御礼を申し上げたい。

2. 質疑応答での市からの説明内容

「市長退任の日を間近にして」

《記者からの質問》

この 12 年間をあらためて振り返っての感想をお聞かせ願いたい。

《回答》

市民の皆さんや職員と協働で進めてきたまちづくりに尽きる。いろんなことができたのも多くの方々の協力のおかげと思っている。昨日までの 3 日間の挨拶回りでびっくりしたのは、職業能力開発大学校 (ポリテクカレッジ) を統括している本部の理事長から、(ポリテクの) 存続に尽力したということで感謝状をいただいたこと。ものづくりの技術者を地方で確保したいという熱い希望が、私の呼びかけを発端に全国的な (存続) 活動に広がっていったことを現理事長もご存じであったのかと大変感激した。もう一つは、大変長い期間をかけて取り組んできた富山労災病院の改築で、この秋には新棟で診療開始になる。私とすればもう何も思い残すことはないというくらいである。小学校の統廃合も、少子高齢化が背景にあるが、将来に向けた魚津市の在り方が難しい時代に入っているという実感と共に、子ども達の教育環境をこれからどうするかということをも 10 年前くらいから大きな課題に位置付けてきた。住民の皆さんの理解を得ながら長期計画を立て、市内の全小学校の統合

がいよいよ動き出した。今年は1校目の清流小学校が開校したわけだが、このあとも引き続き、新校舎を建設する本江小学校を中心とする4校統合と、住吉小学校を中心とした3校統合の具体的な仕事も進んでおり、こういったことの背景にはいろんな議論があったなということは今思い返している。

《記者からの質問》

任期中に積み残したこと、次の市長に託したいことはあるか。

《回答》

計画中あるいは進行中のもので新市長あるいは新しい議会の皆さんにぜひ推進をしてもらいたいと思っているのは、魚津駅周辺の整備計画だ。北陸新幹線開業に関係するが、JRが3セクになったことで魚津市がどんな影響を受けるのかと大変な時代、私共の意気込みよりも国の財政事情などで少し進行が遅れていくかどうか心配もある。設計や測量も関わってくるので必ず時間をかけて進んでいくと思うが、これをぜひお願いしたい。新幹線時代に向けた魚津の一つの大きな課題であると思っている。それと昨年度の春に出発した地域振興会。今年初めて本格的な予算を配分した。それぞれの地域が自分たちの地域をどう創造するかということを随分検討を重ねていただいた結果なので、地域の活性化にどう取り組んでいかれるか、行政からも全面的な支援をお願いしたいものだと思っている。

《記者からの質問》

退任後はどのように過ごすのか。

《回答》

走りっぱなしできたものを少し休養をとりながら老後に備えようかと思っている。

「市長選について」

《記者からの質問》

選挙期間中に市長から沢崎豊さんに檄文を送られた。企業主導の選挙戦に対して危機感のようなものを表現されたが実際にこのような結果になったことについてはどのように感じているか。

《回答》

当初から皆さんに後継指名はしない、中立で行くと、選挙期間中も言っていたわけで。私に両陣営から決起大会に出てくれという話も来たりしたが、かたくなにそれはできませんと。当初から危惧していたのは、二者択一の選挙が後々の市民生活や市政の中で悪い影響が出ないようにということ。しかしいろんなメッセージは届けますということは申し上げておいた。両陣営から（メッセージを）出せと言われてれば出すくらいの気持ちでいた。

《記者からの質問》

村椿さんにこんな市政運営を望む、というのはあるか。

《回答》

私の12年前の選挙とよく似た状況になってきたと実感していた。私は皆さんか

ら（支援してやったんだから）こうやれということは12年間ほとんどなかったの
でこれからもそのようなことは特別ないだらうとは思いますが、やはり意識の問題では
ないか。

「中央通りの防火建築帯について（20歳の挑戦関係）」

《記者からの質問》

他県にも防火建築帯があるということだが、保存という観点の調査なのか。

《回答》

中央通り名店街のアーケードも傷んできており、それとエリア全体をどうしよう
かと、店の所有者や地権者の方々とトータルプランは作られた。しかしながら、現
実を見た時に店を改装したくても長屋造りなので単体ではできないという問題も
あり、どのような手法をとれるか検討されている。このタイミングにたまたま神奈
川大学大学院の建築学専攻を知っている方のつてがあり、この事業につながった。
これまで、防火建築帯をなんとかしないと、という観点ばかりだったが、逆に、戦
火や大火のあったところに造られたこの建築帯を利用して魅力を発信する手法は
ないかという視点で大学院生が調査をする。この結果提案された内容を中央通り名
店街も市も参考にし、今後どうするかを検討材料になると思っている。聞くところ
によると鳥取の防火建築帯などが有名だが、魚津の防火建築帯は非常に長く全国で
も有数だということだ。

（防火建築帯を）壊して再開発なのか、これを活用しながらリノベーションする
のかを含め、研究して提案いただくという内容だ。まだ手法は全く決まっていない。
中央通りも（全国の）いろんな商店街を見て、どうしたらいいのか模索中。（大学
院生の）提案をその通りにできるどうかは別問題だ。

《記者からの質問》

行政の方から文化財的な価値に目を付けての取り組みなのか、それとも大学院側
からの提案か。

《回答》

（大学院側で）建築帯に興味があり、ということだと聞いている。市で、歴史的遺
産と言ったことは今までないと思う。建築分野ではこういった防火建築帯が一つの
遺産という見方があるそうだ。学生に与えられたテーマも、単に、歴史的な建築物
を保存するというだけでなく、上手く活用して人が来てくれるようにするというテ
ーマで、活性化のための提案をすることになっている。